

第2回 防府市人権学習市民セミナー

日時：令和4年9月27日（火）

13:30～15:00

会場：防府市文化福祉会館3階4号

子どもをとりまく 現代的課題

講師 いわかね社会福祉士事務所
代表 岩金 俊充 さん



子どもをとりまく現状

ヤングケアラー：法令上の定義はないが、一般に、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どもを指す。

世話をしている家族が「いる」と回答したのは

小学校6年生**6.5%** 中学校2年生で**5.7%**

全日制高校2年生で**4.1%** 定時制高校2年生相当で**8.5%**

通信制高校生で**11.0%** 大学3年生で**6.2%**

(2022年4月11日：厚生労働省・株式会社日本総合研究所)

※小中学校：1クラス1～2人

1. ヤングケアラーは、家庭内のデリケートな問題であることなどから表面化しにくい。
2. 福祉、介護、医療、学校等、関係機関におけるヤングケアラーに関する研修等は十分でなく、地方自治体での現状把握も不十分。

ヤングケアラーについて

◎ ヤングケアラーやその家族と日頃から接する地域の皆様は、行政機関や支援事業所の支援者よりも身近な存在です。

◎ もしヤングケアラーと思われる子どもを発見したら、本人に対して気にかけていることを伝え、いつでも相談にのると伝えるだけでも助けになる場合もあります。

◎ ヤングケアラーは本人の成長やケア対象者の状況の変化に伴い、ケアに対する負担感にも変化が生じる場合があります。

◎ 日頃子どもと接する中で変化に気づいた際など、気になる点があれば是非行政機関に相談してください。

「多機関・多職種連携によるヤングケアラー支援マニュアル

～ケアを担う子どもを地域で支えるために～ 令和4年3月 厚労省」



子どもをとりまく現状

<児童虐待>

<児童相談所における、児童虐待に関する相談数>

1990 (H2) 1万1011件→2021 (R3) 20万7659件 (速報値)

年度	H30	R1	R2	R3/速報値
山口県	1,134	1,197	1,160	1,268
全国	159,838	193,780	205,044	207,659

山口県HPより

<不登校> R1年度 文科省

小学校 53,350人 中学校 127,922人

小中計 181,272人 高校 50,100人

<いじめ> 9割の子どもが被害経験あり

9割の子どもが加害経験あり

いじめは、起こります

(国立教育政策研究所2010～2012調査)

児童虐待やいじめについて

- ◎ “しつけ”という言い訳を許さない。
- ◎ 虐待しているという「自覚」がなくても、法に示された行為を行った場合は虐待。（障害者虐待防止と対応の手引き：厚労省・H29.3）
- ◎ 虐待されているという「自覚」もなくとも、法に示された行為があった場合は虐待。
- ◎ 単なる「見守り」は、「見殺し」と一緒。
- ◎ いじめやトラブルは、きちんと対応すれば、成長の糧となる。

☆ 今すぐ閲覧してみてください↓

- ・「いじめ防止対策推進法」（H25公布.H28改定）
- ・「STOP!!いじめ 今日からできる10のポイント」

やまぐち総合教育支援センターHP <http://www.ysn21.jp/>



参加者のアンケートから（原文を掲載）

・子どもの現代的問題についていろいろな角度からお話され、問題の深さ、難しさがよく分かりました。これからどのように・・・少しでも役立つ事はないか考えてみたいと思います。

・現代の子どもたちがおかれているさまざまな原因、要因による課題、危機が改めてよくわかりました。それらの諸課題は、自然な状態では周囲からは見えにくいため、さまざまな場面で、子どもの言動、様子、変調などをしっかり見取る努力が必要とされること再確認しました。

・ヤングケアラー、児童虐待が身近な問題であることが、改めて理解できました。身近な子どもの様子を新しい目で見守っていきたいと思いました。ありがとうございました。

・早く気づく事が大切だという事を聞き、今一度周囲への注意を向け些細な変化を見落とさないようにしていきたい。

・ヤングケアラー、ネグレクトについて手だて等、もっと時間をかけお聞きしたかったです。多くの課題について事例と共にご説明頂きありがとうございました。